

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 604

所管部局	教育委員会	所管課	学校教育課	担当者名	上西 奈穂
事業名	外国青年招致事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	外国青年招致事業			政策体系	122
会計	一般会計	科目	10.教育 - 1.教育 - 2.事務		

1. 事業の概要

外国語指導助手（ALT）を配置し、市内各小・中学校において日本人教員とともに児童生徒に対して英語活動・英語教育の指導を行う。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

小学校での英語活動、中学校での英語教育において、英語による対話力を向上させるための事業である。また、市内に在住する社会人を対象にした英会話教室の講師としても派遣し、国際理解の推進を図る。

②事業を実施する必要性

文部科学省の新指導要領のとおり、中学校の英語学習と関連づけた小学校高学年の英語活動は、今後ますます拡充していく傾向にある。今まで以上に児童生徒のコミュニケーション能力を向上させるための手立てとして、英語を母国語とするALTを配置し、生きた英語の指導をする必要がある。また、ALTと日本人教員とのティームティーチングによる授業の実施は、英語の指導方法を日本人教諭が習得する手立てとなる。

3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	694	1,611	761	694	418	0	0
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	694	1,611	761	694	418	0
職員等の従事人員	人/年	—	—	0.44	0.90			
人件費	千円	—	—	2,709	3,072			
事業費総額	千円	—	—	3,470	3,766			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

ALT帰国に係る経費
 （八木・日吉） 492,170円（旅費）
 36,750円（廃棄物処理手数料）
 42,000円（運送委託料）
 ALT配置に係る必要経費
 97,350円（負担金）
 18,880円（消耗品費）
 7,050円（旅費）

5. 事業結果の概要

各中学校ブロック（美山・日吉・八木）に各1名のALTを配置し、小学校での指導を週2回、中学校での指導を週3回行った。生きた英語の指導にふれることで、児童生徒のコミュニケーション能力の向上を図った。

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
●各小・中学校にALT配置（美山1名、日吉1名、八木1名） 各ブロックごとにALTを配置し、小学校での指導を週2回、中学校での指導を週3回行った。	平成21年4月～ 平成22年3月（美山） 平成21年4月～7月 （八木・日吉）	
●八木・日吉ALT帰国 一昨年来日した八木のALT（Gregory Kheznejat）、日吉ALT（Lei Sin kuan）が帰国した。	平成21年7月（八木ALT） 平成21年8月（日吉ALT）	帰国旅費 八木～アランダ（201,980円） 日吉～バンクーバー（290,190円） アパート退去に伴う経費 運送委託料（42,000円）八木のみ 廃棄物処理手数料（37,000円）

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

学習指導要領の改訂により、学校教育における英語・英会話の取り組みが重要度を増している。本市においては先行した英語活動の取り組みを行ってきた。事業効果をあげるため、平成22年にJET事業によるALTが帰国した後、後任には英語活動のノウハウを持つ民間委託によるALTを配置していく。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

学習指導要領の改訂により、小学校において英語活動が必須となるなど、学校教育における英語・英会話の取り組みが重要度を増してくことから、本市においては先行した英語活動の取り組みを行い、この体制を基礎として更に積み上げをしていくには、今年度まで活用してきたJET事業によるALTの派遣は、派遣されてくる人材によっては積み上げが出来ない場合もあるなどのリスクを伴うことが、全国の自治体から課題として提起されている。次年度に向けてJET事業によるALT派遣を継続するかどうかを検討し、リスクの少ない民間からのALTの導入する方向性を決定している。